

ベスティー和シリーズ

1 モーター背上げベッド

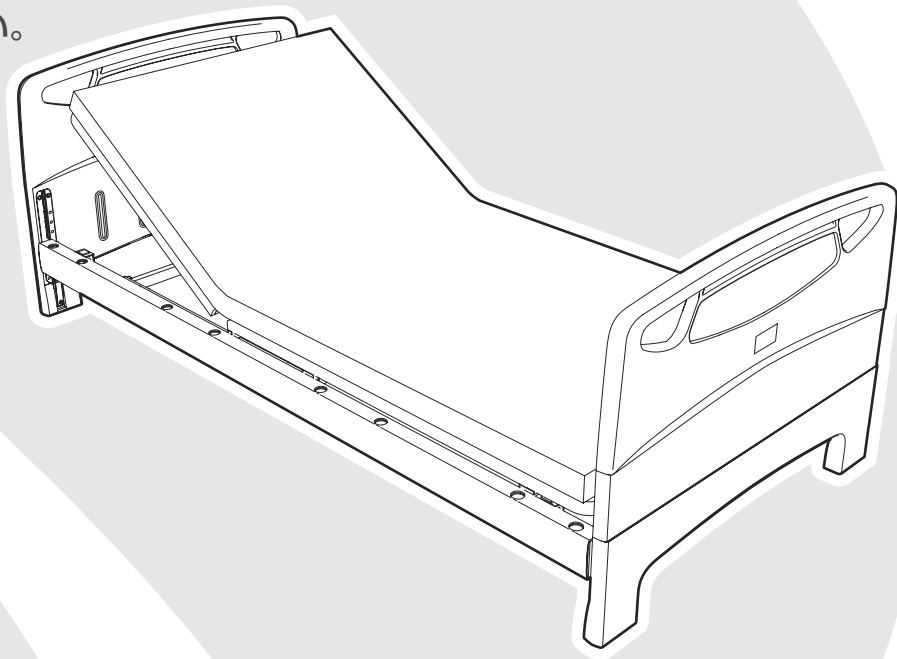
取扱説明書 NB-1109

この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買いあげ、またはレンタル頂き、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

また分解・組み立て手順も記載されております。ベッドを安全にご使用いただくため、手順をよくご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってください。

この「取扱説明書」は、いつでもごらんいただけるように大切に保管してください。



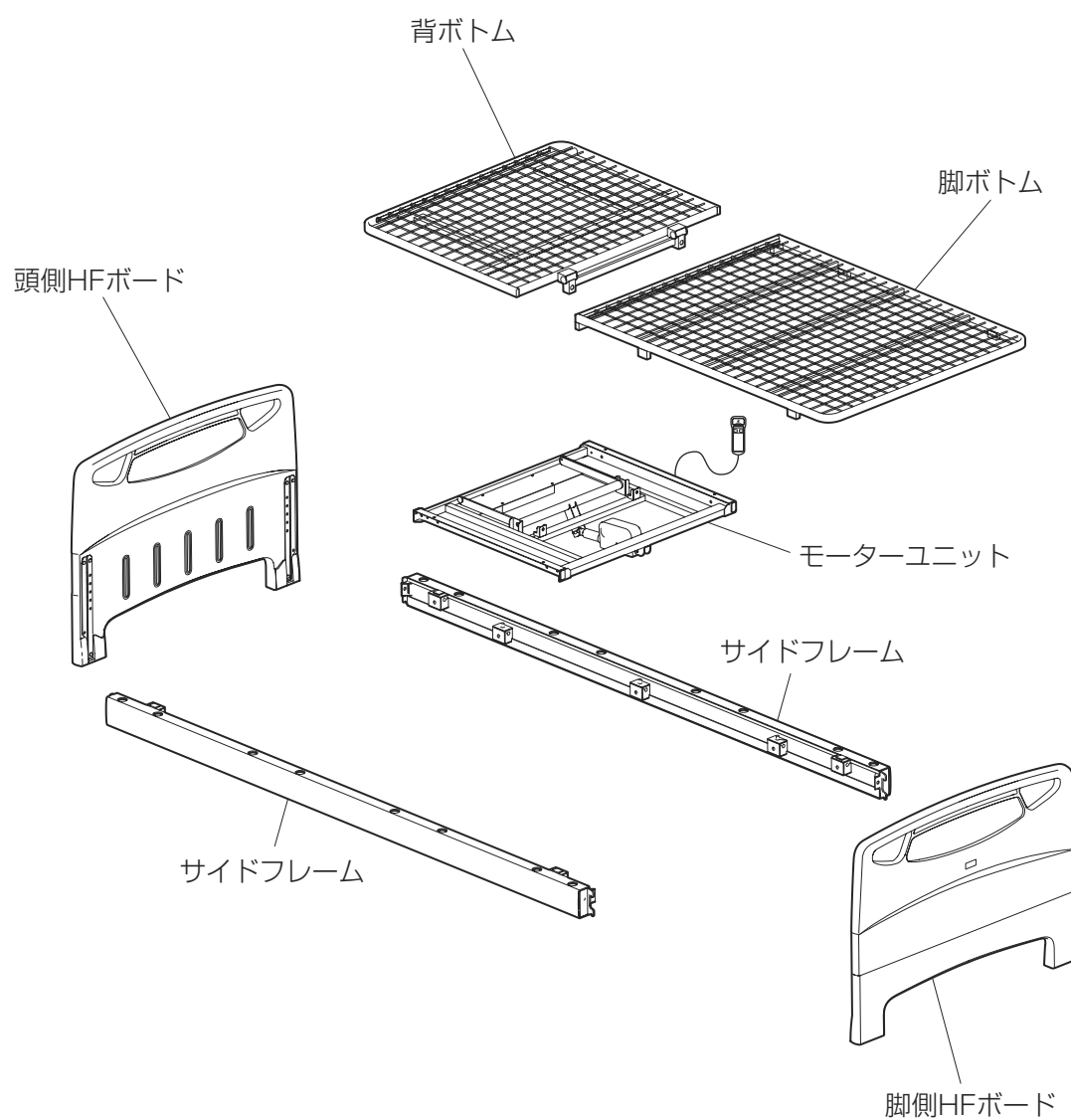
ランダルコーポレーション

目次

1. 各部の名称	4
2. 安全に使用いただくために	5
3. 本書のみかた	10
4. 日常の使用方法和操作	11
■ 手元スイッチの操作方法	11
■ 日常のお手入れ	12
5. 組み立てる前の準備	13
6. 組み立て方法	14
■ パッケージごとの内容物と付属品	14
1 HF ボードにサイドフレームを取り付けます	15
2 モーターユニットを取り付けます	18
3 背ボトムを取り付けます	21
4 脚ボトムを取り付けます	23
5 完成	24
■ オプションの取り付けとご注意	25
■ 介護リフト使用時のご注意	26
7. 分解方法	27
1 脚ボトムを取り外します	28
2 背ボトムを取り外します	29
3 モーターユニットを取り外します	30
4 HF ボードからサイドフレームを取り外します	32
■ 付属部品と分解したユニットの保管	33

8. 停電・故障時の取り扱いについて	34
■ 背下げのしかた	34
■ 戻しかた	35
9. 仕様について	36
10. 故障かな？と思ったら	37
11. アフターサービスについて	38
■ 保証書	38
■ 修理を依頼されるとき	38
■ 製品の最低保有年数は	38
■ SG マーク制度について	39
■ アフターサービスについてご不明な場合	39

1. 各部の名称



2. 安全に使用いただくために

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさみ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

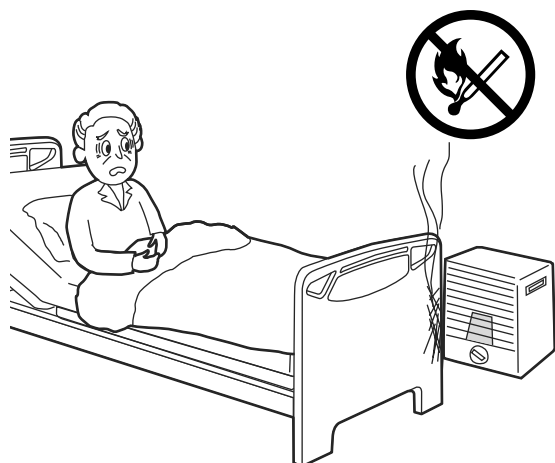


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

ベッドの近くにストーブ等の熱機具を置かないでください。火災や変質、変形の原因になります。



ベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になります。





警告

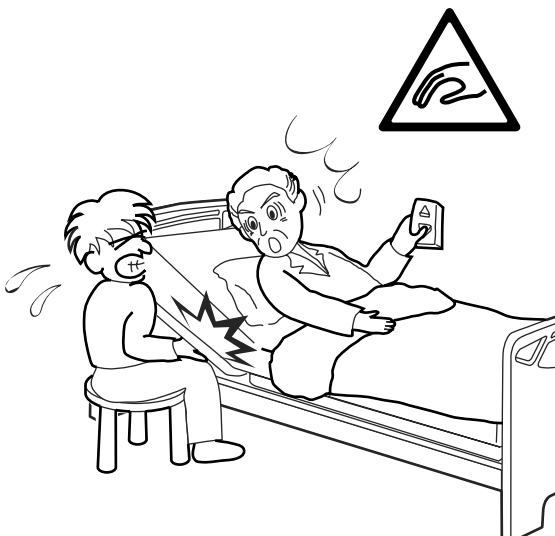
ベッドの上で飛び跳ねたり、不用意に立上
がったりしないでください。転倒し、けがを
したりベッドが破損する可能性があります。



ベッドの設置場所の上部に不安定な物を置か
ないでください。地震等の際に落下してけが
をする可能性があります。



運転中はベッドの可動部に近寄ったり、
触ったりしないでください。挟まれたり巻
き込まれたりしてけがをする可能性があり
ます。



この取扱説明書に記載されている分解手順以
外の製品の分解や改造は、絶対にしないでく
ださい。故障や人身事故を招く恐れがありま
す。

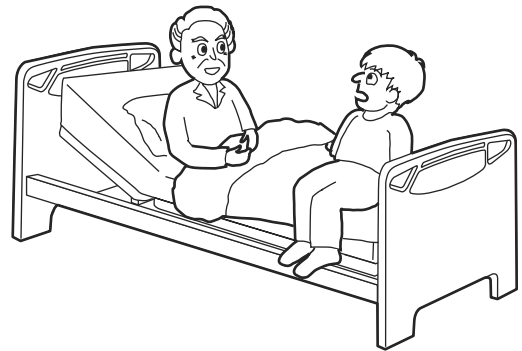
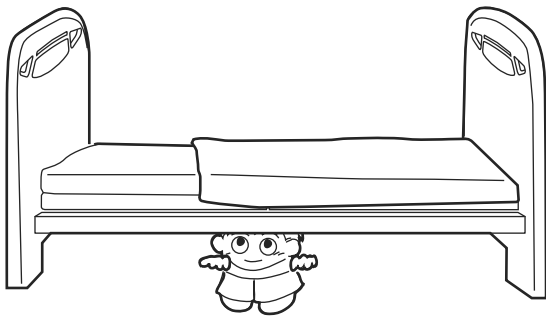




警告

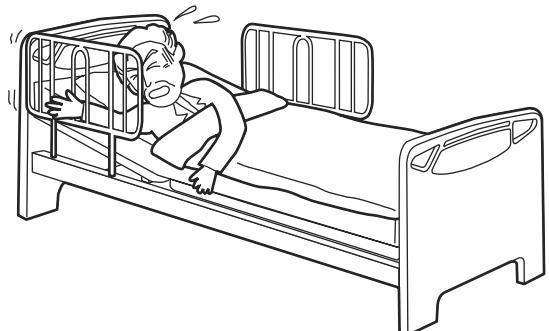
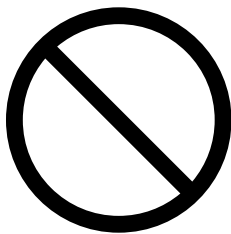
ベッドの下に潜り込んだり、頭・手・脚等を入れないでください。可動部分に挟まれてけがをする恐れがあります。

ベッドの上に二人以上乗って使用しないでください。ベッドが破損する可能性があります。



12才以下の子供や自分で適切に操作できない方には、一人で操作させないようにしてください。故障や人身事故を招く恐れがあります。

サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間に頭・手・脚等が入り込まないように十分注意してください。特にベッド上で予測不可の行動を取る方、御自分で体を自由に動かす事が出来ない方は、細心の注意を払って使用してください。生命に関わる事故を起こす可能性があります。

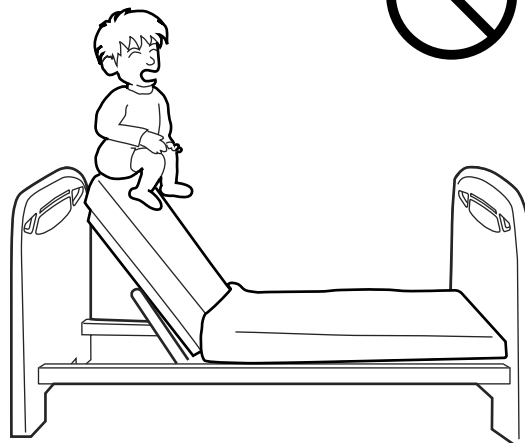
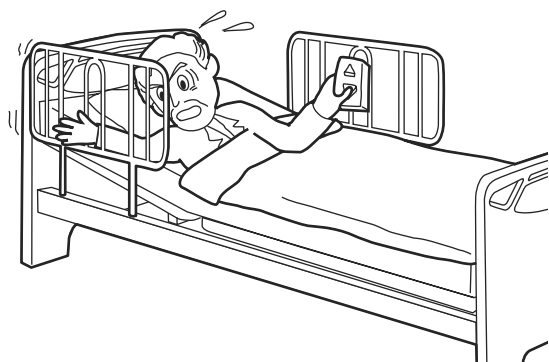




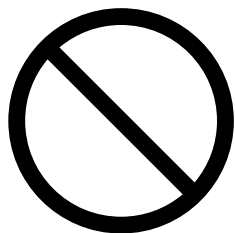
警告

サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間から頭・手・脚等を出したままベッドを操作しないでください。

背を上げたままボトムの上に腰かけたりしないでください。

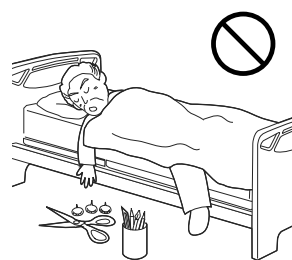


治療中の方は医師に相談をしてください。現在治療中の方はベッドの背上げによって症状を悪化させる場合があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問がある場合はかかりつけの医師にご相談ください。

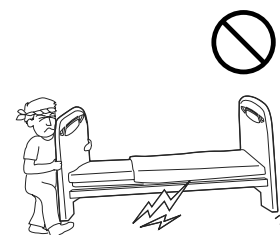


⚠ 注意

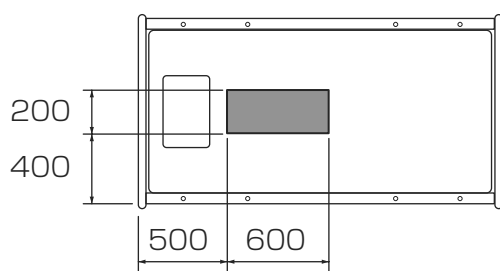
ベッドの周辺には危険物を置かないでください。
ベッドから落下した時、けがをする可能性があります。



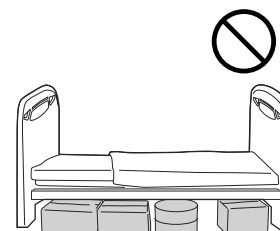
ベッドの移動は必ず二人以上で行ってください。
引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。



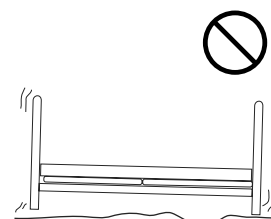
ベッド下の可動部付近に物を置かないでください。
下図の ■ で示した範囲に物を置くとベッド操作時に可動部が干渉し故障の原因になります。



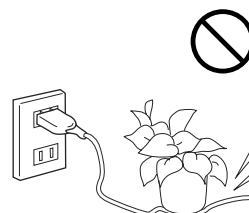
ベッド上面 (単位: mm)



平らな場所に設置してください。
ガタツキや異常音など故障の原因になります。



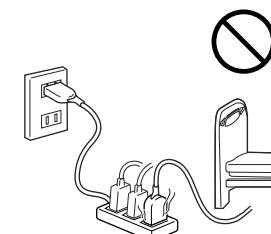
故障や異常に気が付いたら即座に使用を中止してください。
そのまま使用すると故障の原因になります。



電源コードはベッドで踏んだり他の物で挟んだりしないでください。

電源は直接コンセントからとってください。

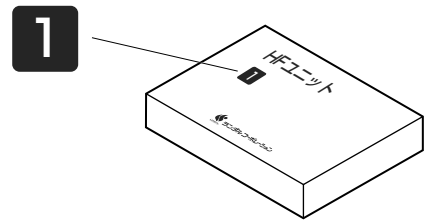
背上げの状態では背ボトムに腰掛けしないでください。
故障する恐れがあります。



3. 本書のみかた

① タイトルの部品と取り付ける部品を表示しています。

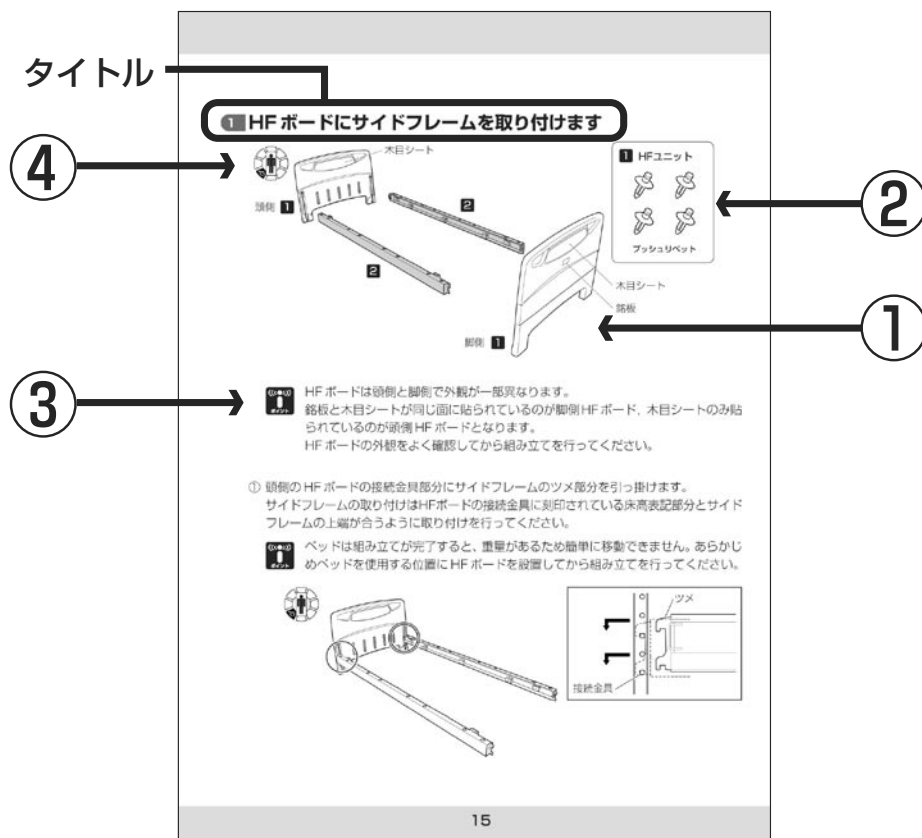
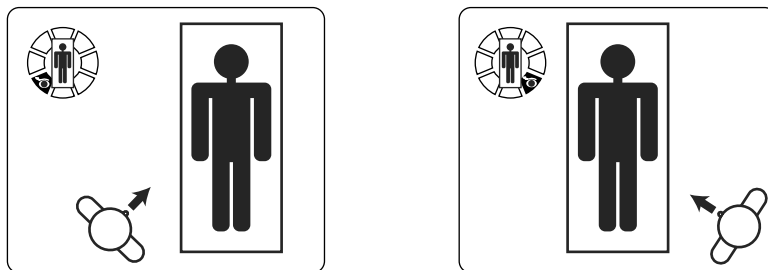
1 はその部品が梱包されている梱包箱の番号です。



② タイトルの部品を取り付けるときに使用する部品を表示しています。**1** は梱包番号でそれに続く名称は内容物の名前です。

③  は組み立てに役立つポイントを記載しています。組み立てをスムーズに行うため、必ずお読みください。

④  は記載されているイラストが、ベッド本体をどの方向から見たものかを8方向のマークで表しています。



4. 日常の使用方法和操作

■ 手元スイッチの操作方法

⚠ 警 告

12歳以下のお子さまや自分でベッドを適切に操作できない方には、一人でベッドを操作させないでください。

⚠ 注 意

手元スイッチのケーブルがベッドの駆動部に絡まないように注意してください。ケーブルが引っ張られたままベッドを使用すると、断線や故障の原因となります。

背あげ



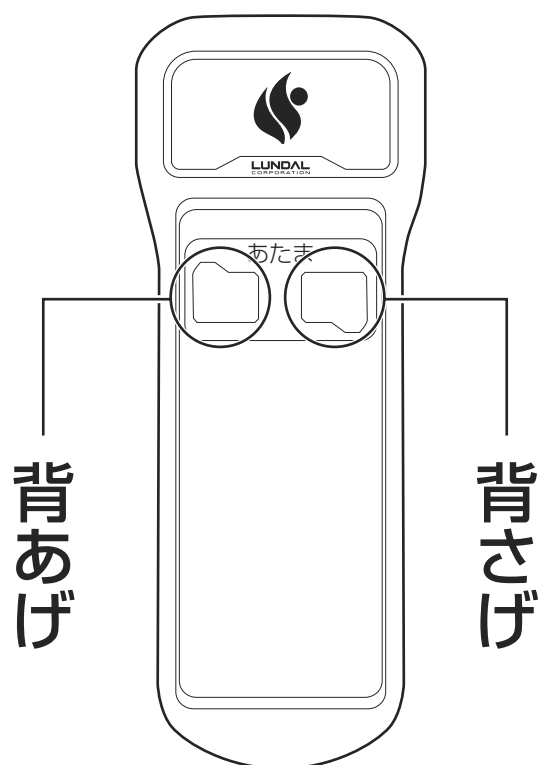
背ボトムの角度を調整します。
(水平から最大75度)



ベッドから起き上がる時に
使用します。

ベッドで食事や読書をする
ときに使用します。

手元スイッチ操作ボタン



- 手元スイッチを操作してもベッドが動かない場合は、繰り返し手元スイッチを操作せず37ページの「10. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

■ 日常のお手入れ

⚠ 注 意

ベッドをお手入れするときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして行います。

⚠ 警 告

ベッドに水やお湯をかけて掃除しないでください。ショートして感電の恐れがあります。

⚠ 注 意

シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。



● ベッド・サイドレール・介助バーなどのお手入れ

水で薄めた中性洗剤に布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き、乾いた布でよく拭き取ります。シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。

● マットレスお手入れ

使用の状態に応じて2週間から4週間に一度、ベッドから降ろし風通しの良いところで陰干してください。

● ネジ類のゆるみの点検

モーターユニット、背ボトムのノブボルトなど、取り付けネジがゆるんでいないか時々点検してください。ゆるんでいるネジは締めるようにしてください。

5. 組み立てる前の準備

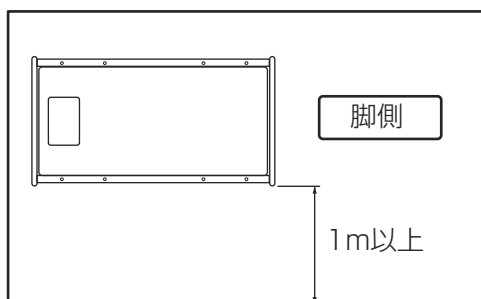
⚠ 注 意

ベッドを組み立てるときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、組み立て手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

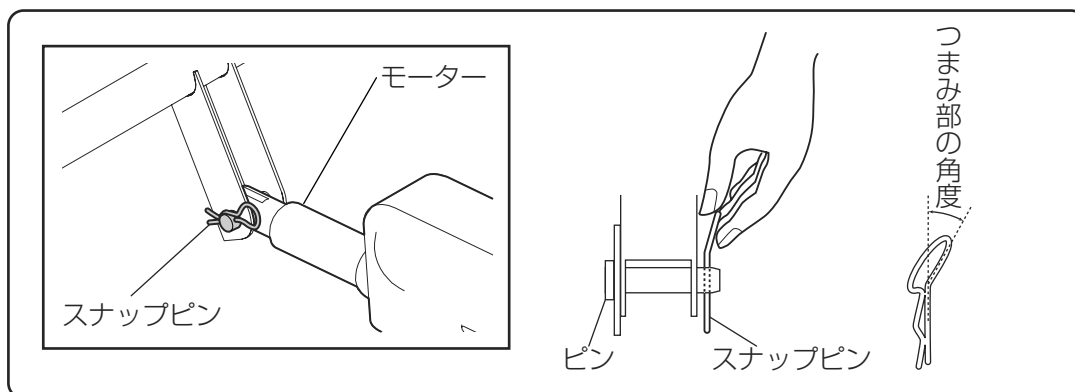
ベッドを組み立てるときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。



- 組み立ては必ず大人2名で行ってください。
- ベッドは組み立てが完了するとおおよそ58.5kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。
- ベッドは一度組み立てると移動させることが困難です。
ベッドを利用される方が車いすに乗り降りする場合、ベッドの横に車いすを横付けできるスペースを確保してください。また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。



- スナップピンには着脱しやすいように、つまみ部に角度が設けてあります。取り付け時にはこの部分が外側へ向くようにしてください。

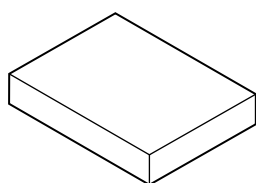


6. 組み立て方法

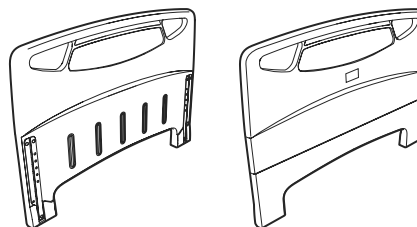
■ パッケージごとの内容物と付属品

ベッドを組み立てる前に以下の部品がすべてそろっていることを確認してください。各品する際には部品をパッケージごとに分けておくと組み立ての際に便利です。

1 HFユニット 約14kg (16kg)



103×77×12 (cm)



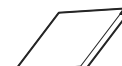
HFボード



スナップピン×4



ノブボルト (長) ×2



本書



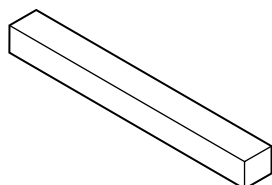
プッシュリベット×4



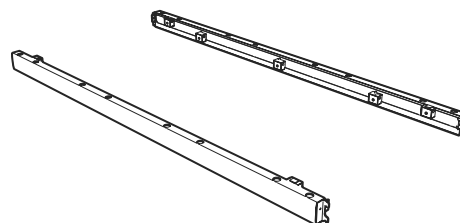
ノブボルト (短) ×4

組立ネジセット

2 サイドユニット 約13kg (14kg)

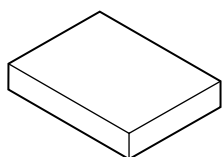


209.5×17×10.5 (cm)

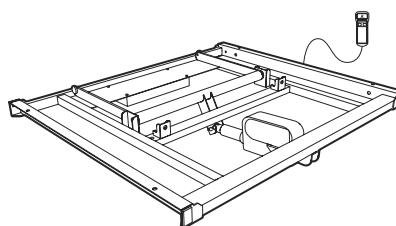


サイドフレーム

3 モーターユニット 約15.5kg (18kg)

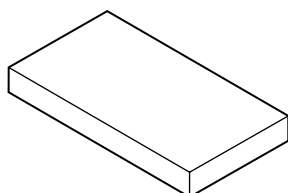


95.5×87×18.5 (cm)

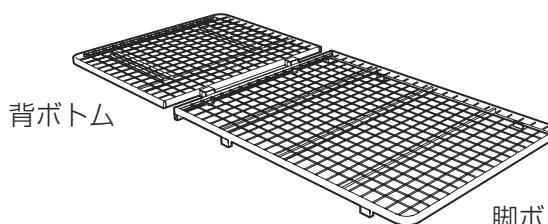


モーターユニット

4 ボトムユニット 約16kg (18.5kg)



120×94×8.5 (cm)

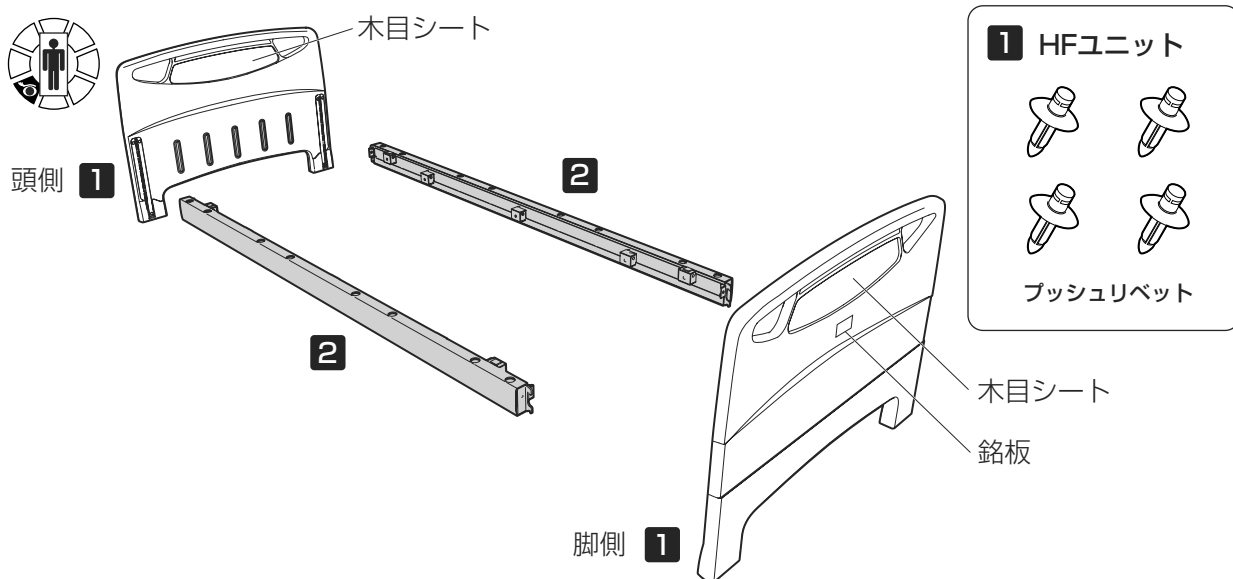


背ボトム

脚ボトム

() 内の重量は梱包状態での重量です。

1 HF ボードにサイドフレームを取り付けます



HF ボードは頭側と脚側で外観が一部異なります。

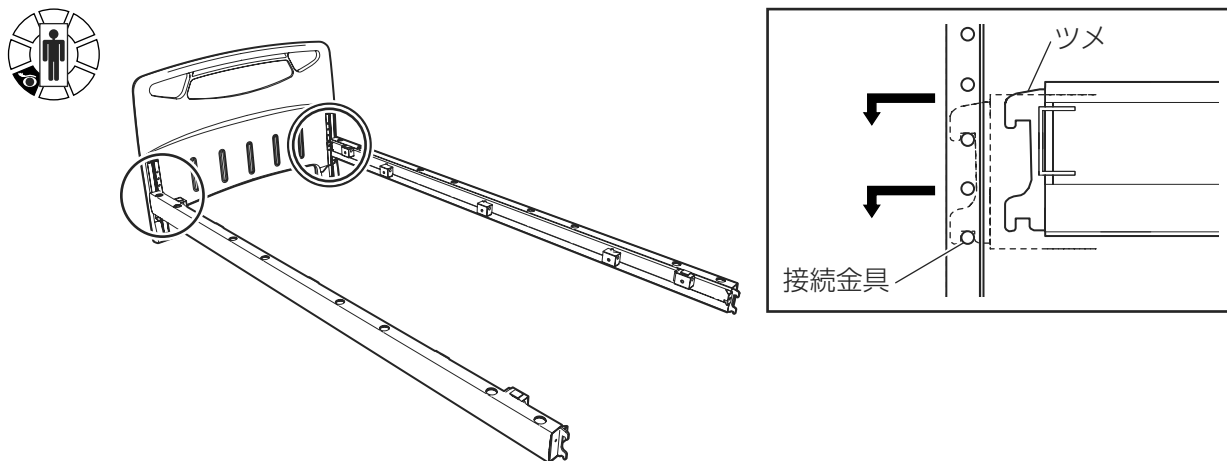
銘板と木目シートが同じ面に貼られているのが脚側 HF ボード，木目シートのみ貼られているのが頭側 HF ボードとなります。

HF ボードの外観をよく確認してから組み立てを行ってください。

- ① 頭側の HF ボードの接続金具部分にサイドフレームのツメ部分を引っ掛けます。
サイドフレームの取り付けは HF ボードの接続金具に刻印されている床高表記部分とサイドフレームの上端が合うように取り付けを行ってください。



ベッドは組み立てが完了すると、重量があるため簡単に移動できません。あらかじめベッドを使用する位置に HF ボードを設置してから組み立てを行ってください。

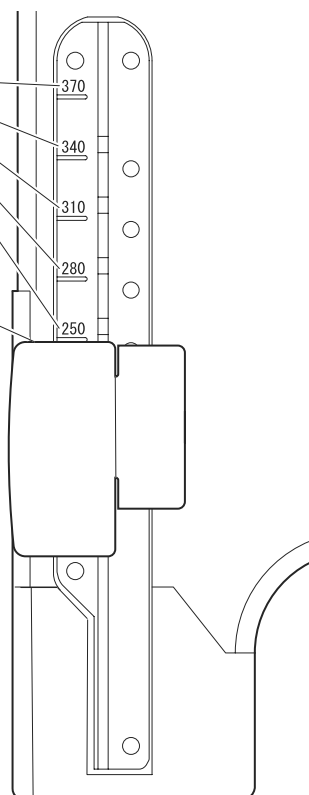




ベッドは5段階の高さを選択することができます。使用する高さを確認してから組み立ててください。

床高表記部分
(25, 28, 31, 34, 37cm)

サイドフレーム
上端

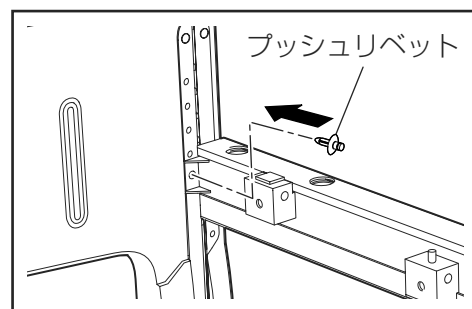
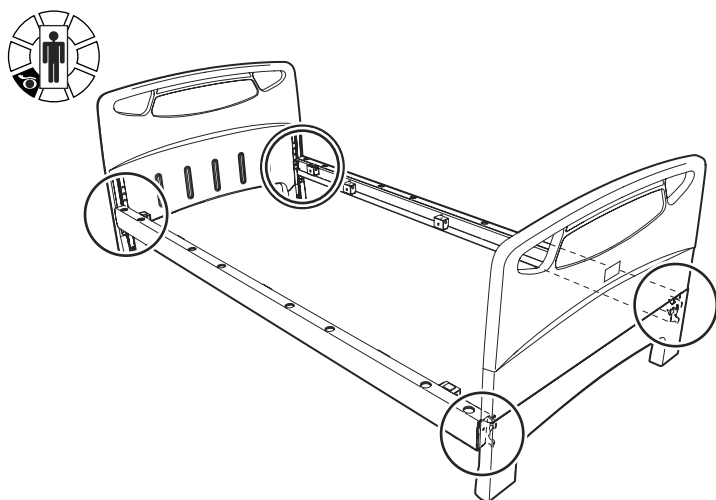


② ①と同様の手順で脚側 HF ボードにサイドフレームを取り付けます。

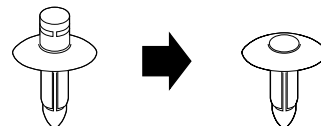


①で取り付けした頭側 HF ボードと同じ高さになるように接続金具の床高表記部分を確認して取り付けを行ってください。

③ プッシュリベットを差し込みサイドフレームを固定します。



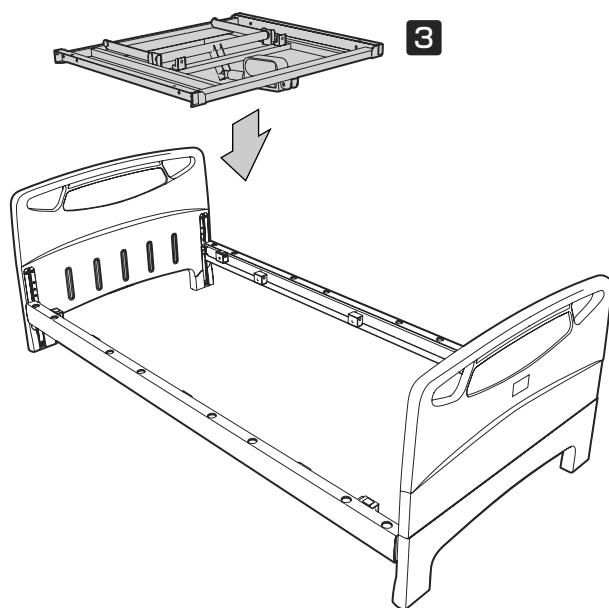
プッシュリベットはしっかりと押し込みます。



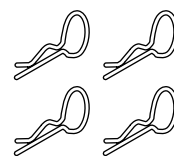
⚠ 警告

ベッドは組み立てが完了するとおおよそ58.5kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。

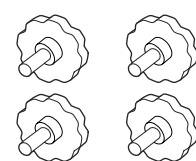
2 モーターユニットを取り付けます



1 HFユニット

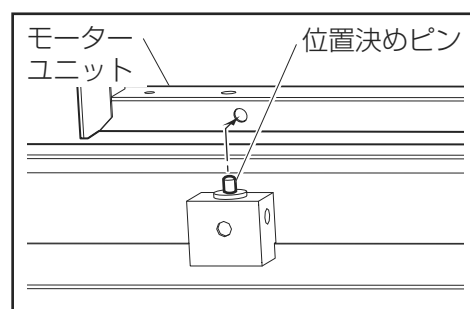
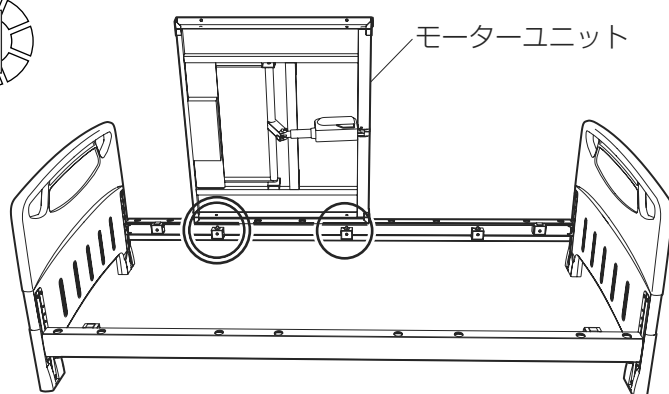


スナップピン

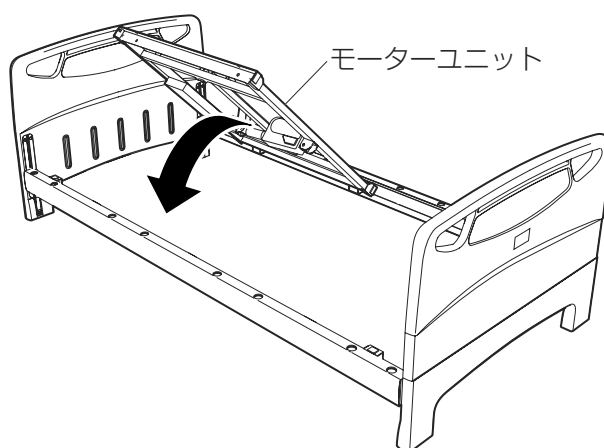


ノブボルト (短)

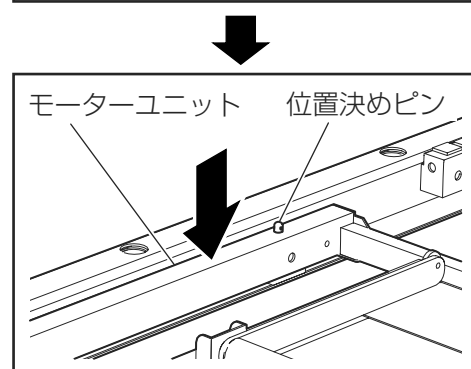
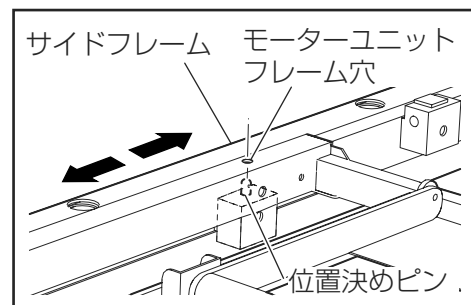
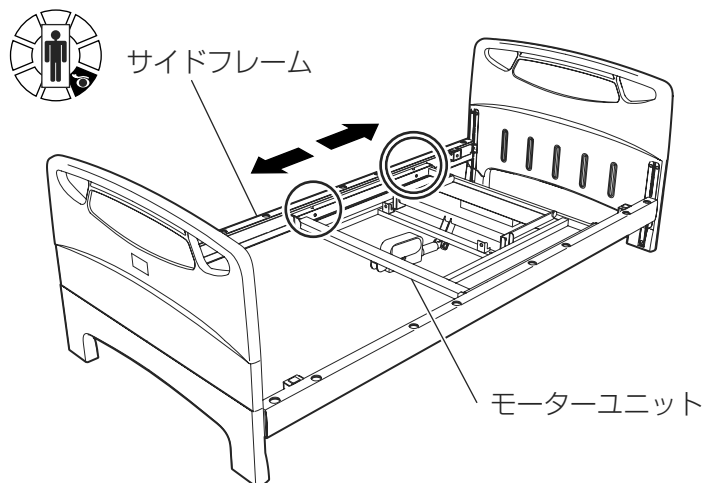
- ① 片側のサイドフレーム2カ所の位置決めピンにモーターユニットのフレームの穴があうように位置合わせを行います。



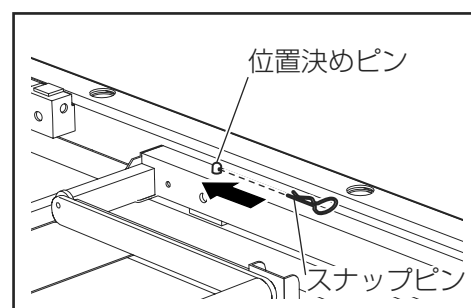
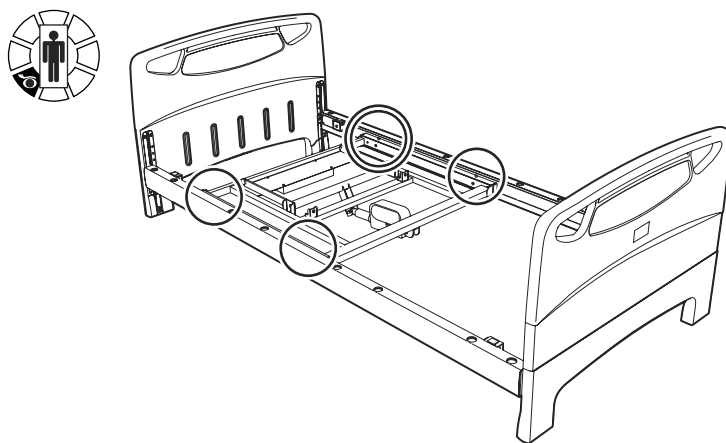
- ② 位置決めが終了したらモーターユニットを静かに倒します。



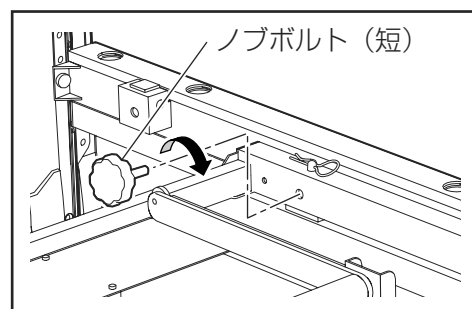
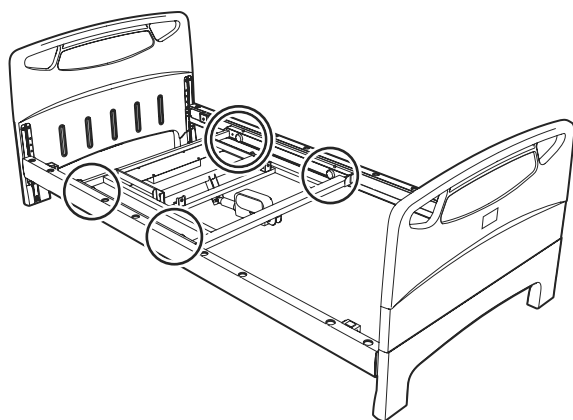
- ③ 反対側のサイドフレームの位置決めピンにモーターユニットのフレーム穴2カ所が合うようにサイドフレームの位置を微調整します。
位置があったらモーターユニットを位置決めピンに合わせてセットします。



- ④ 4カ所の位置決めピンにスナップピンを差し込みます。



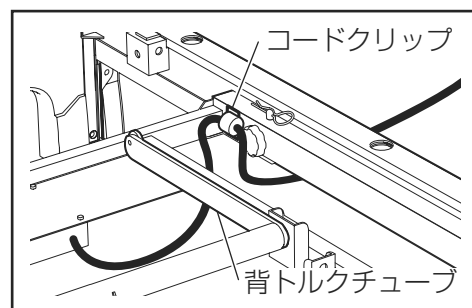
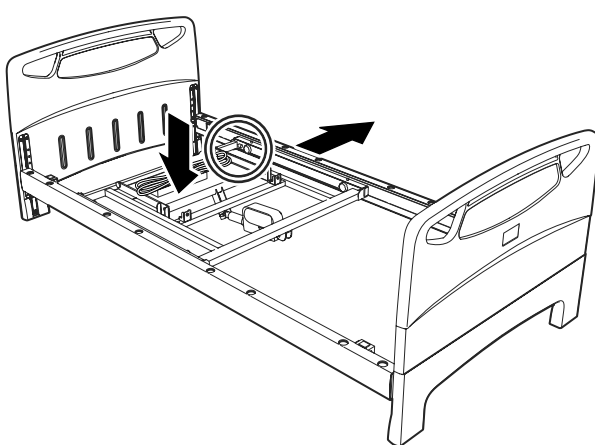
- ⑤ サイドフレームの連結部4カ所とモーターユニットの連結部4カ所をノブボルト（短）で固定します。



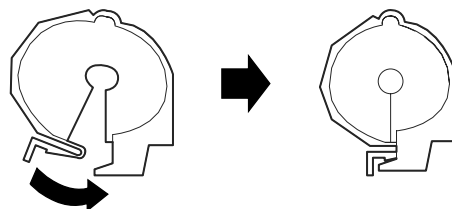
⚠ 警告

モーターユニットの取り付け後、ノブボルトが強くしめてあるか確認してください。
ノブボルトがゆるんでいるとモーターユニットが外れてけがをする場合があります。

- ⑥ 電源ケーブル・手元スイッチが固定されているひもを解き、コードをモーターユニットとサイドフレームの下に通します。この時、コードはモーターユニットに取り付けられているコードクリップで固定してください。



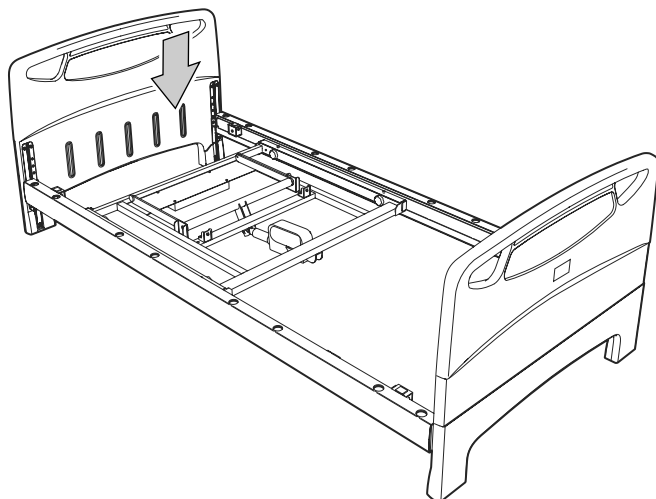
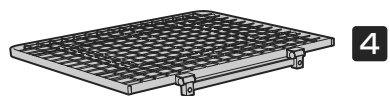
コードクリップは矢印方向に押し込むと固定されます。



⚠ 警告

- ・ 手元スイッチのコードは背トルクチューブに引っ掛からないように配線してください。
- ・ 手元スイッチのコードはコードクリップで固定してください。
固定していないとコードの絡み等により断線を招く恐れがあります。

③ 背ボトムを取り付けます

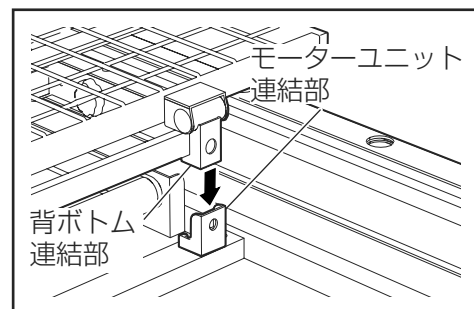
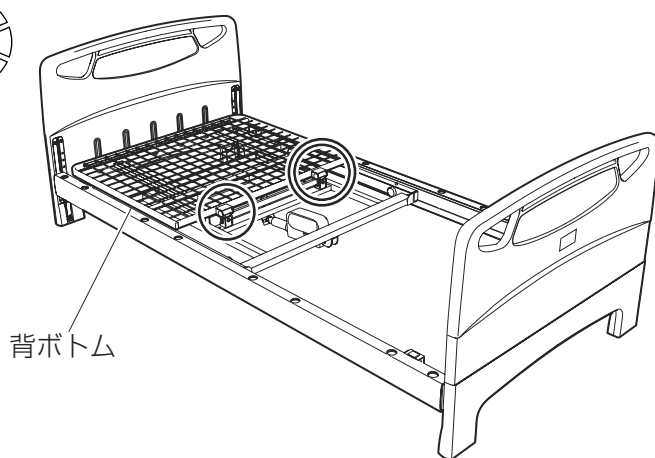


1 HFユニット

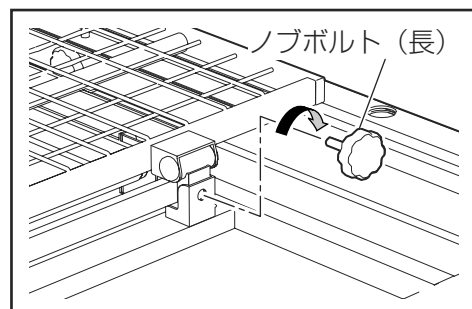
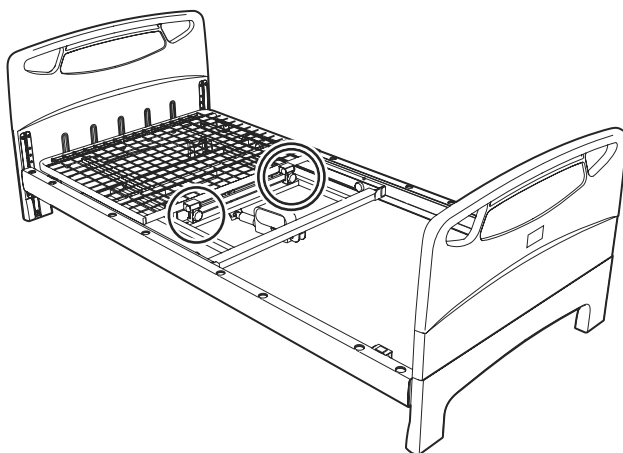


ノブボルト (長)

① 背ボトムの連結部 2 カ所とモーターユニットの連結部 2 カ所をはめ込みます。



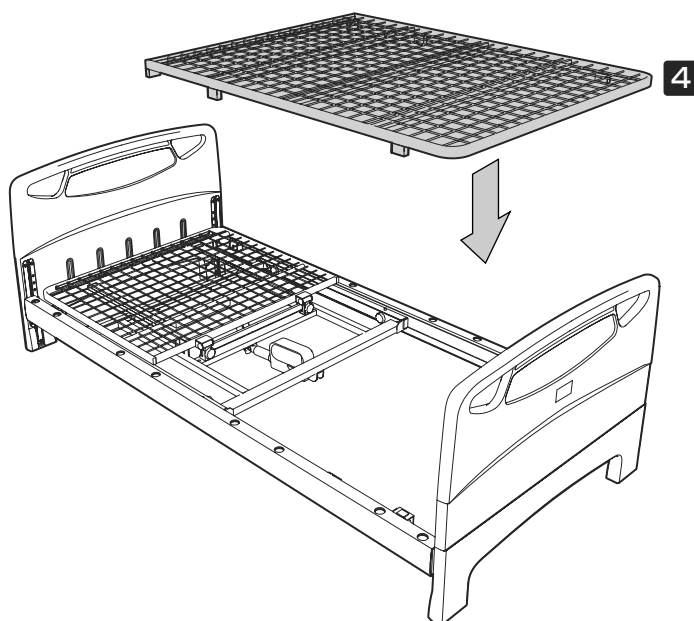
- ② 背ボトムの連結部2カ所とモーターユニットの連結部2カ所をノブボルト（長）で固定します。



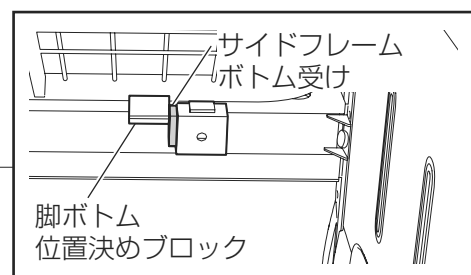
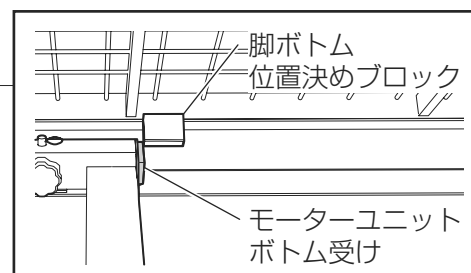
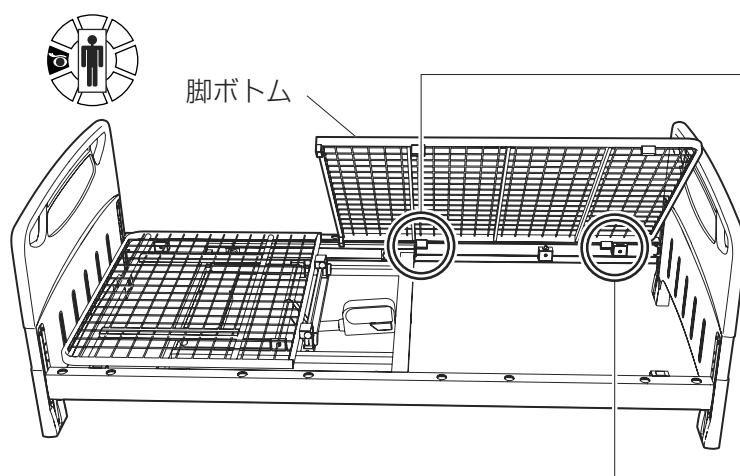
警告

背ボトム取り付け後、ノブボルトが強く締めてあるか確認をしてください。ノブボルトがゆるんでいると背ボトムが外れてけがをすることがあります。

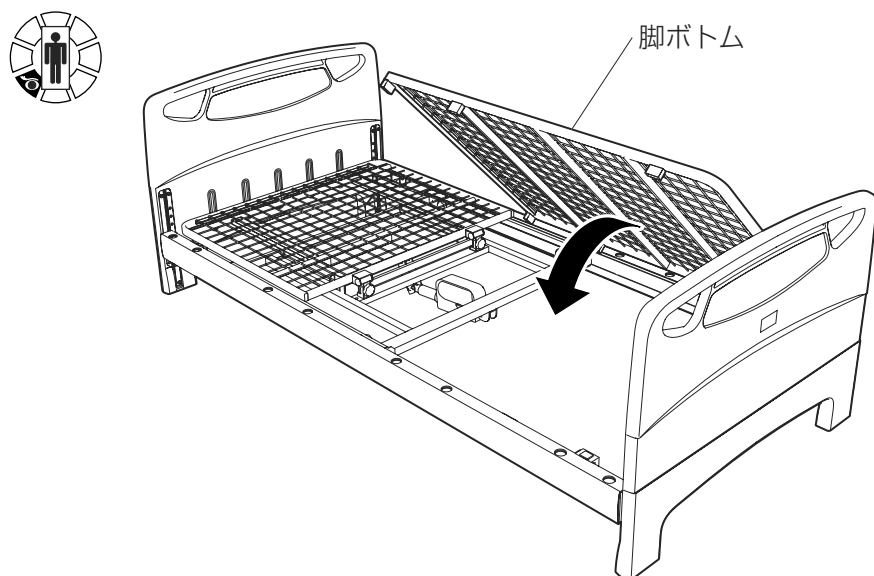
4 脚ボトムを取り付けます



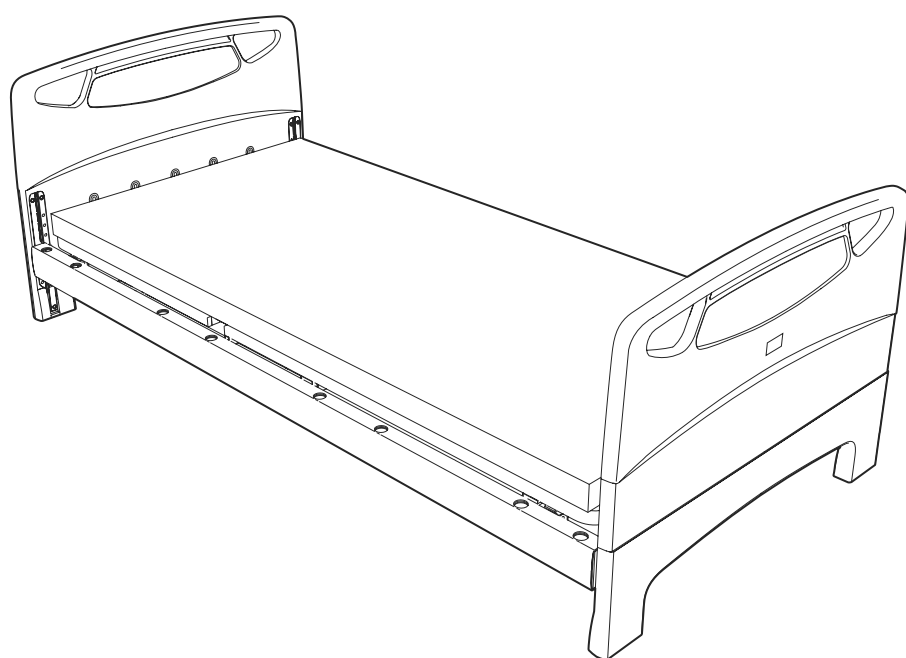
- ① 脚ボトムの位置決めブロック2カ所とモーターユニット、およびサイドフレームのボトム受け（樹脂部分）の位置合わせを行います。



② 位置決めが終了したら脚ボトムを静かに倒します。



5 完成



① マットレスをのせて完成です。

■ オプションの取り付けとご注意

介助バー，サイドレールについて

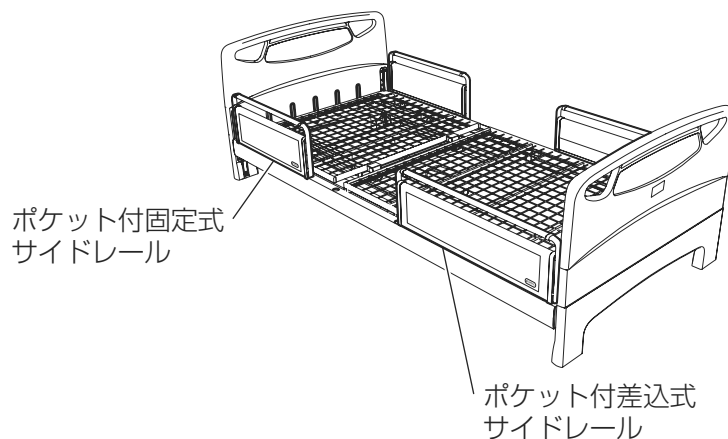
- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、介助バー，サイドレールが使用できます。
- 安全のため、使用者が転落する恐れがある場合などにはサイドレールをご使用ください。

⚠ 警 告

オプション間のすきまやオプションとHFボードのすきまに、頭・手・脚等が入り込まないように十分注意してください。特にベッド上で予測不可の行動を取る方、ご自分で体を自由に動かす事が出来ない方は、細心の注意を払って使用してください。生命に関わる事故を起こす可能性があります。



介助バー，サイドレールに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



⚠ 警 告

- ・ サイドレールはベッドで寝ている人の転落防止、寝具の落下防止を目的としています。立ち上がり時などの、支えとしてお使いになる場合は介助バーをご使用ください。
- ・ 差込式サイドレールはベッドへの取り付け、取り外しが素早く行えるように、ストッパー機構が付いておりません。体重がかかっている状態で抜けると転倒してけがをする恐れがあります。

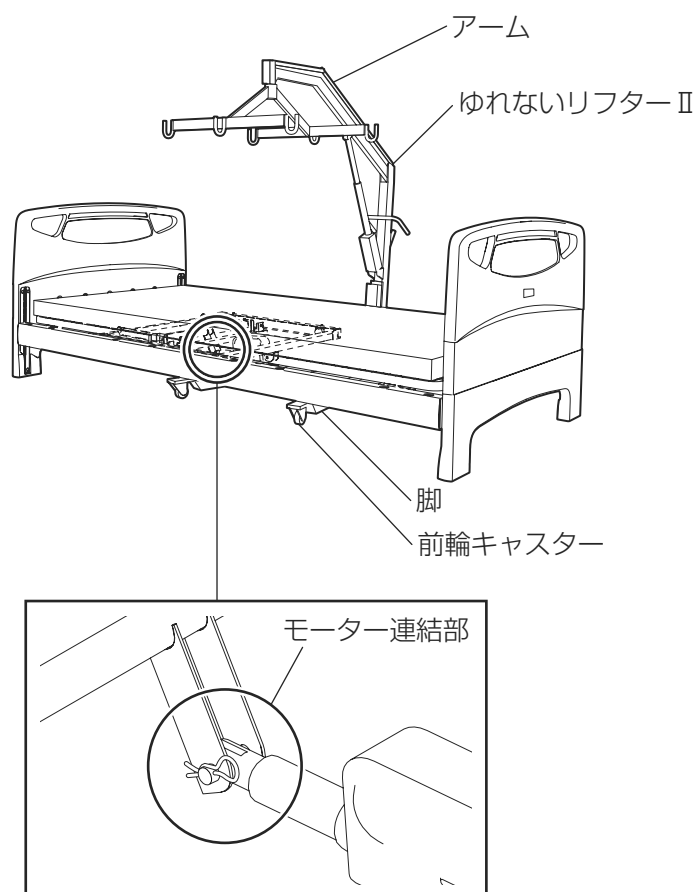
■ 介護リフト使用時のご注意

■ 下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

- ゆれないリフターⅡ



ゆれないリフターⅡに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



⚠ 警 告

- ・ ベッドの背を上げるとき、およびリフターのアームを下げるときは、ベッドとリフターのアームとの間に挟まれてけがをする恐れがあります。十分注意してください。
- ・ ベッドの背を下げるときはモーターユニットのモーター連結部分にリフターの脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損の恐れがあります。

7. 分解方法

ベッドを分解する前に以下の作業を行ってください。



- ベッドに装着しているオプションパーツなどがありましたら取り外します。
- 寝具、マットレスをベッドから降ろします。
- 背ボトムを最低位置まで下げます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。

注 意

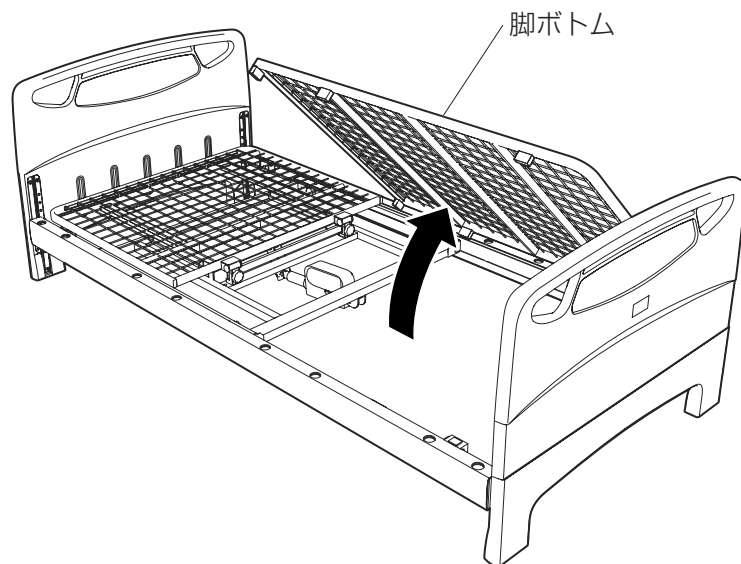
ベッドを分解するときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、分解手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ベッドを分解するときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

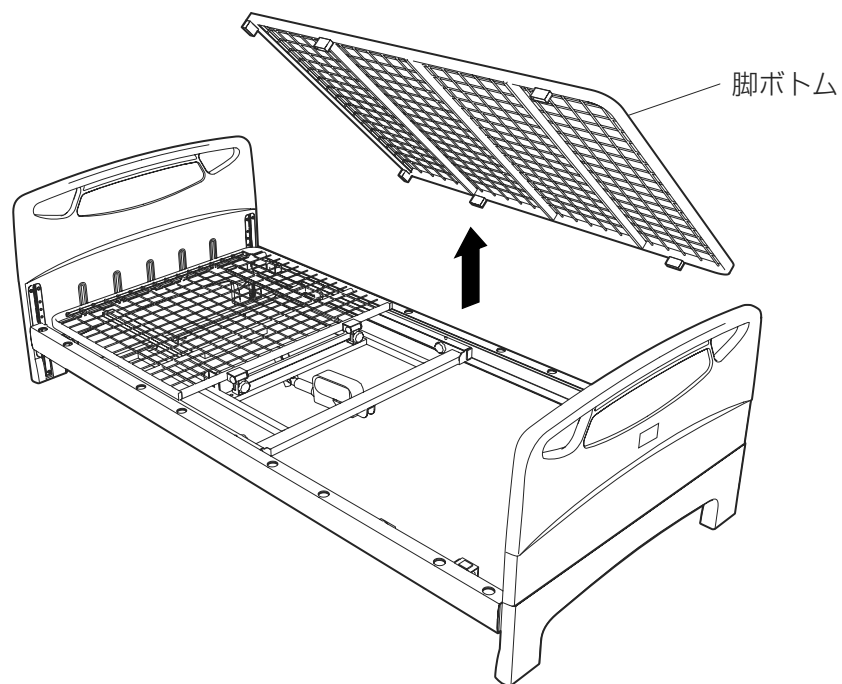
- 分解は必ず大人2名で行ってください。
- 取り外したスナップピン、プッシュリベット、ノブボルトは紛失しないように袋などに入れ保管してください。

1 脚ボトムを取り外します

① 脚ボトムの片側を起こします。

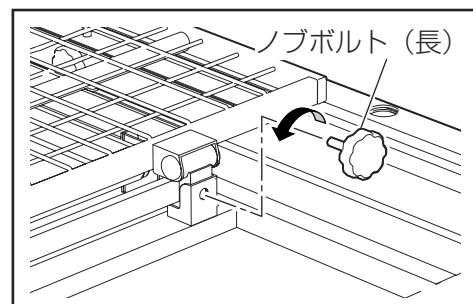
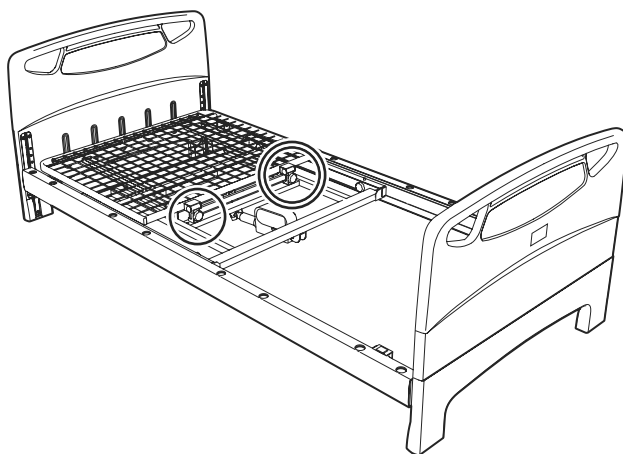


② そのままの状態で脚ボトムを持ち上げ、取り外します。

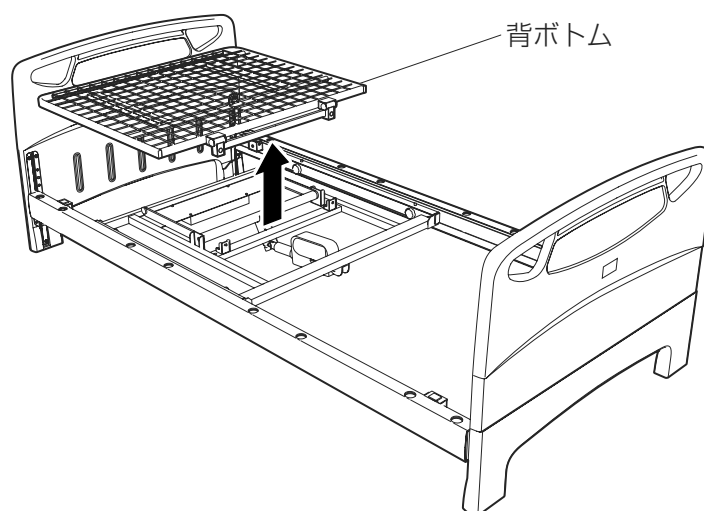


2 背ボトムを取り外します

- ① 背ボトムとモーターユニットを連結しているノブボルト（長）2カ所を取り外します。

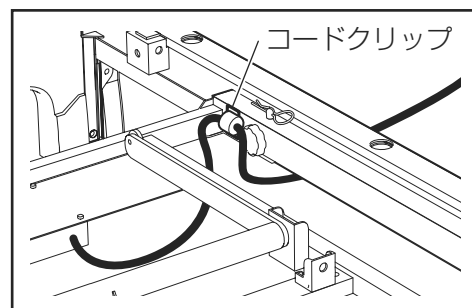
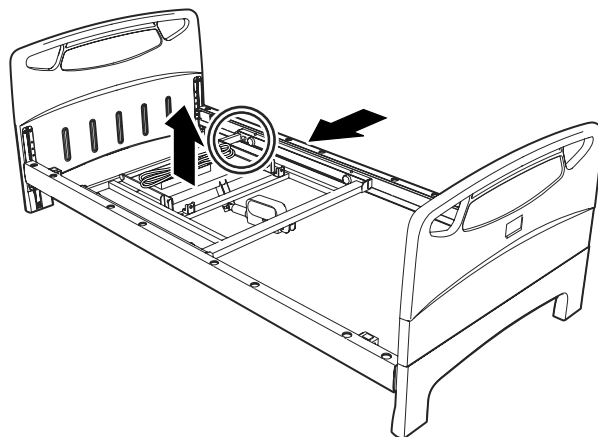


- ② 背ボトムを真上に持ち上げながら取り外します。

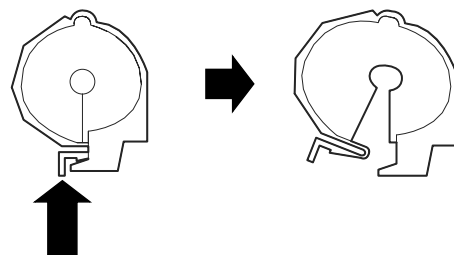


3 モーターユニットを取り外します

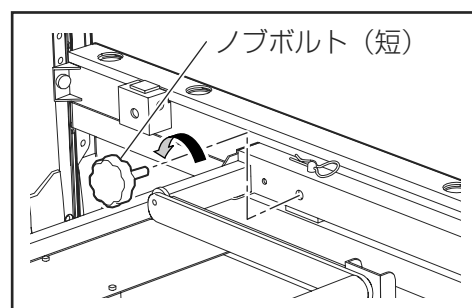
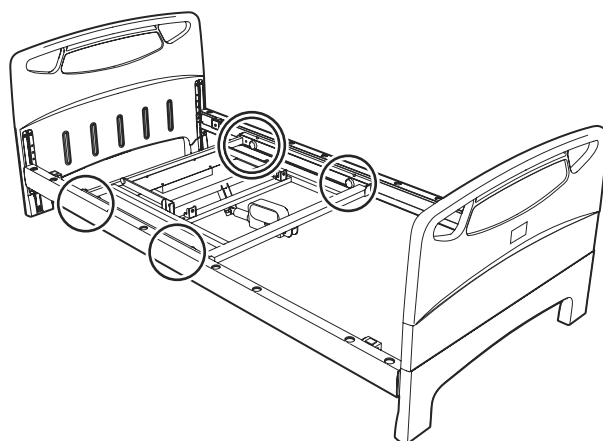
- ① コードクリップで固定されているコードを解放し、電源ケーブル・手元スイッチをモーターユニットの下から上に通し、ひも等で束ねます。



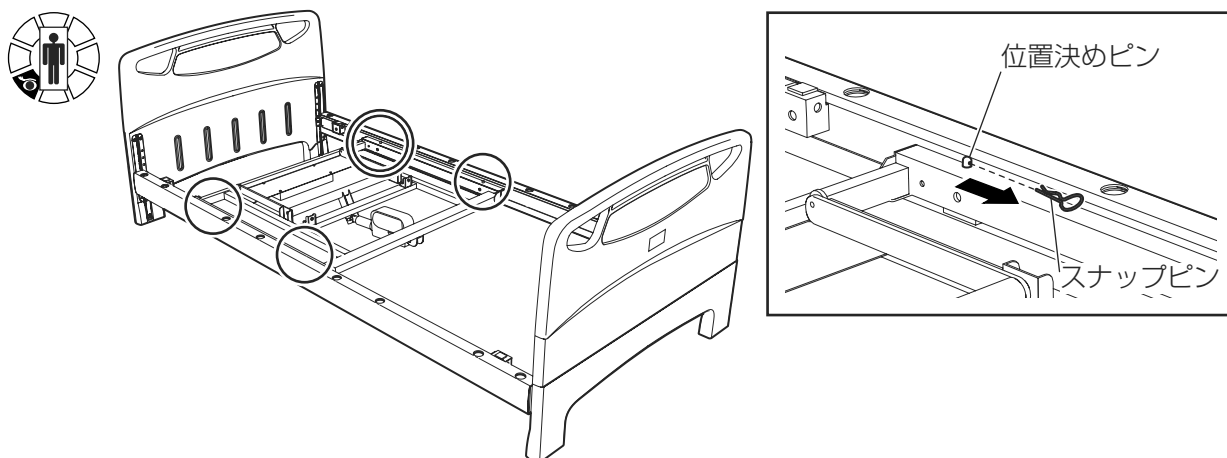
コードクリップは矢印部分を
押すことで解除できます。



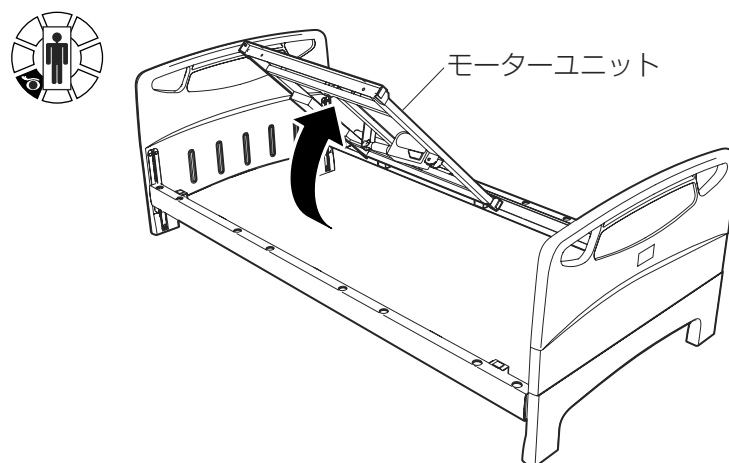
- ② サイドフレームとモーターユニットを連結しているノブボルト（短）4カ所を取り外します。



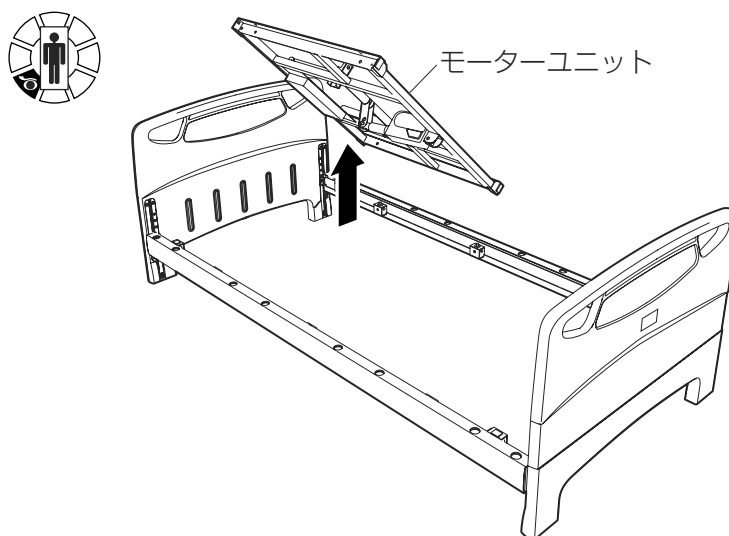
- ③ モーターユニットを固定している 4 カ所のスナップピンを抜き取ります。



- ④ モーターユニットの片側を起こします。

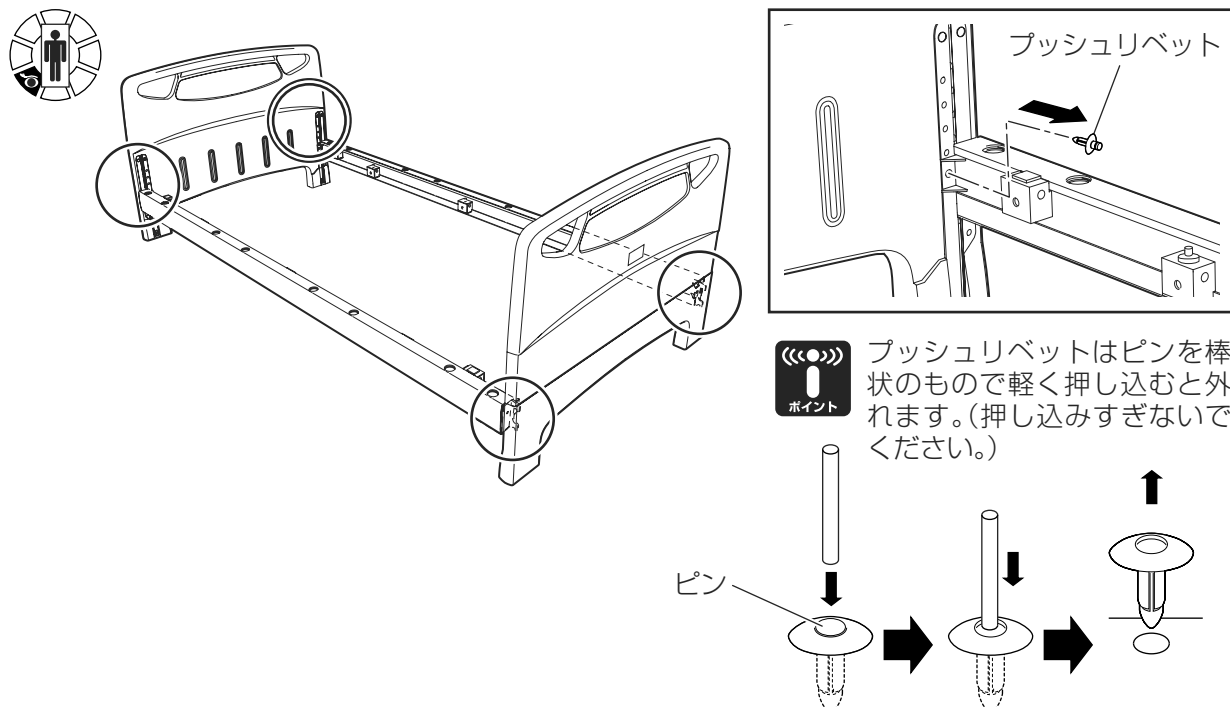


- ⑤ そのままの状態でもーターユニットを持ち上げ、取り外します。

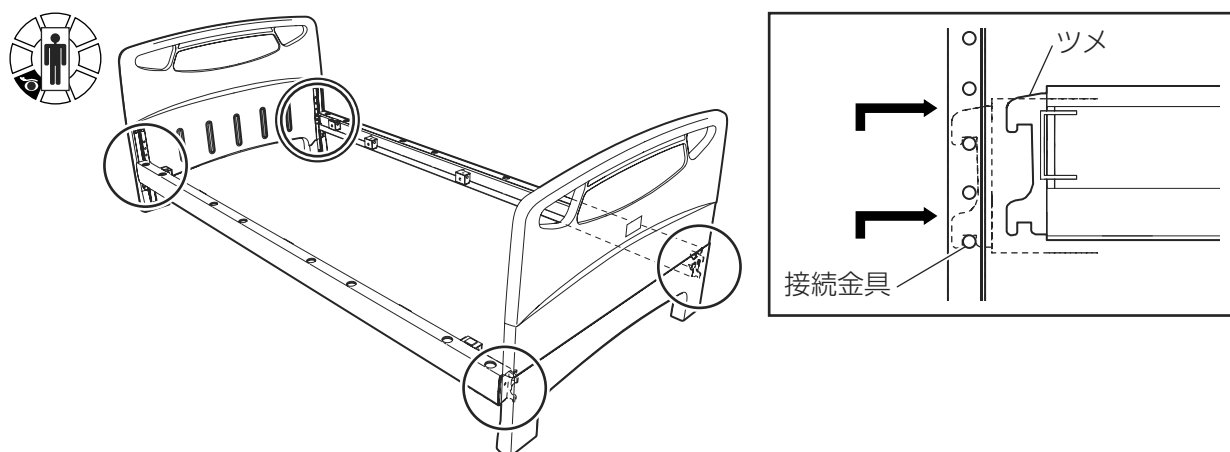


4 HF ボードからサイドフレームを取り外します

- ① サイドフレームを固定しているプッシュリベットを棒状のもので押し込み外します。



- ② サイドフレームを一旦持ち上げ、ツメとHFボードの接続金具が引っかからないようにして引き抜きます。



■ 付属部品と分解したユニットの保管

付属品，組立部品，その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書，および組立付属品，その他の部品を袋などに入れて HF ユニットと一緒に保管してください。



スナップピン×4



ノブボルト（短）×4



ノブボルト（長）×2

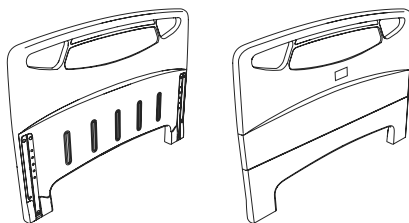


プッシュリベット×4



本書

1 HFユニット



HFボード



上記の付属部品と一緒に保管してください。

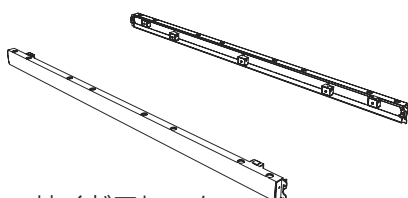


梱包するときは、取扱説明書，付属品などが梱包されていることを見やすいところに明記しておくとし後日開梱するときに便利です。



HFユニットを重ねるときは、金具で傷が付かないように布などをあててください。

2 サイドユニット



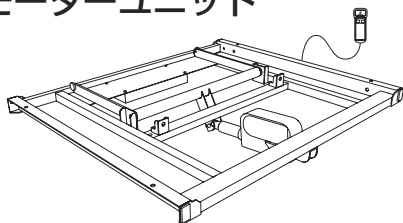
サイドフレーム



サイドフレームは立てて保管するとツメやサイドバンパが変形をおこす恐れがあります。

サイドフレームは必ず横に寝かせた状態で保管してください。

3 モーターユニット

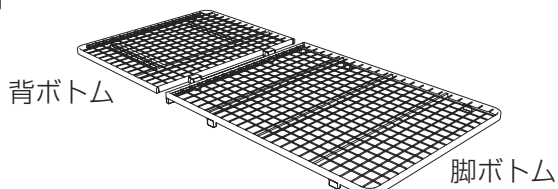


モーターユニット



手元スイッチ，電源コードはひもなどで束ねて保管してください。

4 ボトムユニット



背ボトム

脚ボトム

8. 停電・故障時の取り扱いについて

- 停電やベッドの故障時に、背ボトムが上がったままの状態を平らにすることができます。

■ 背下げのしかた

⚠ 注 意

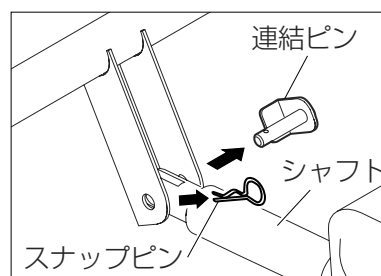
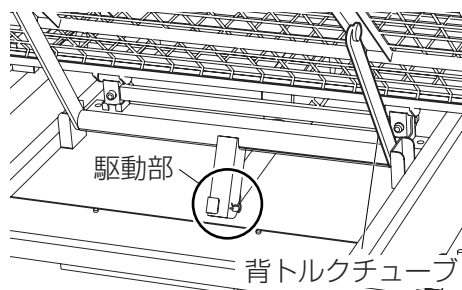
- ・ 駆動部の連結部を外すことにより行います。ベッドをはじめの状態に復旧させるものではありません。手元スイッチでの操作は、停電やベッドの故障が回復するまで使用できません。
- ・ 作業は必ず2人以上で行ってください。

- ① コンセントからベッドの電源プラグを抜きます。
- ② 寝具やマットレスを降ろします。
- ③ 背ボトムと背トルクチューブを押さえてください。
- ④ 背ボトム駆動部の連結を解除します。

⚠ 注 意

連結部を解除すると、モーターにより駆動していた部分が自由な状態となり平らな状態へ戻ります。手などをはさまないように注意してください。

ボトムを起こすと図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き、連結ピンを取り外します。



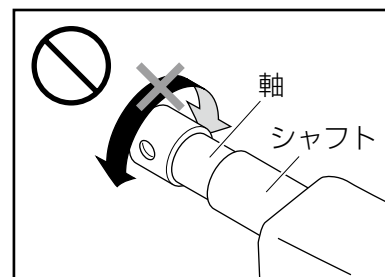
⚠ 注 意

- ・ 外した連結ピン, およびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください
- ・ この作業を行った時は、復帰作業を行って元の状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

- ⑤ 駆動部を平らな状態にします。

⚠ 警 告

モーターの軸を回転させると、故障や人身事故を招く恐れがあります。モーターを取り外した場合は、絶対に軸を回転させないで下さい。



⚠ 注 意

停電やベッドの故障が回復したら、駆動部と連結部を元に戻してください。

■ 戻しかた

⚠ 注 意

作業は必ず2人以上で行ってください。

- ① 寝具やマットレスを降ろします。
- ② 背ボトムと背トルクチューブを押さえてください。
- ③ 背ボトム駆動部を連結します。
- ④ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 手元スイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。

9. 仕様について

型 番		NB-1109
ベ ッ ド 全 長 (mm)		2080
ベ ッ ド 全 幅 (mm)		999
ベ ッ ド 床 高 (mm)		250・280・310・340・370
背 上 げ		0～75度（無段階）
ヘッド・フットボード高さ (mm)		750
適合するマットレス幅 (mm)		910
製 品 質 量 (kg)		58.5
材 質	ヘッド・フットボード	PP（一部ステンレス）
	サイドユニット	スチール製：抗菌粉体塗装仕上げ （一部樹脂成型品）
	モーターユニット	
	ボトムユニット	
最大使用者体重 (kg)		135
安全使用荷重 (N)		1700 (174kg)
電 源		AC100V, 50/60Hz
モーター消費電力 (W)		150～170
モーター形式		DCモーター
昇 降 時 間 (秒)		約30
連続使用時間 (分)		約5
電源コード長さ (m)		3

10.故障かな？と思ったら

- 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

チェック1

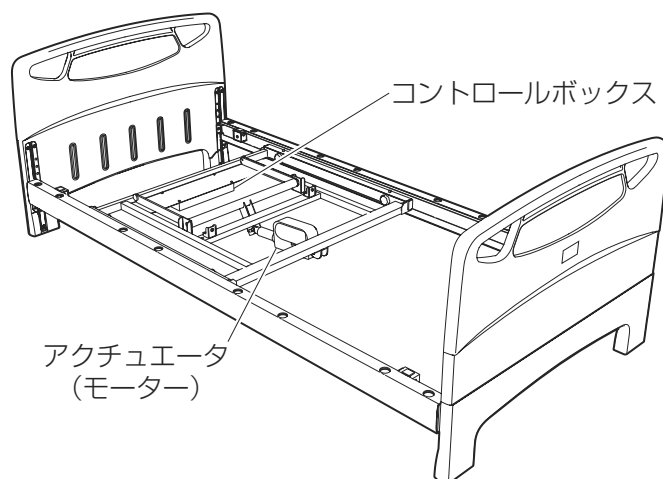
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応：電源プラグをコンセントに差し込んでください。

チェック2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：手元スイッチのコネクタをコントロールボックスに差し込んでください。



チェック3

アクチュエータ（モーター）のケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：アクチュエータ（モーター）のケーブルをコントロールボックスに差し込んでください。

チェック4

手元スイッチのランプが点滅していませんか？

対応：連続使用でアクチュエータやコントロールボックスが熱くなると過熱防止回路がはたらき、アクチュエータが停止します。

ランプが点灯の状態になるまで20分程お待ちください。

11.アフターサービスについて

■ 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

日付の記入がない場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

■ 修理を依頼される時

本書の「10.故障かな？と思ったら」（37ページ）に従って調べてください。それでも直らない場合は、ベッドの電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、または弊社営業所・サテライトにご連絡ください。

◎ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所、および電話番号

◎ 保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも修理が有償となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

◎ 保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

■ 製品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後、7年としております。

■ SG マーク制度について

SGマーク製品は、財団法人製品安全協会が電動介護用ベッドの安全上必要なことを定めた認定基準を作成し、この基準に適合した製品に付けられるものです。正しいユニットの組み合わせで組み立てた電動介護用ベッドで、万が一欠陥があり、その欠陥により人身事故が起きた場合には賠償措置を実施します。ただし、正しいユニット以外の組み合わせで組み立てた場合、組み付け不良によるもの、およびオプションが起因した場合にはSGマークの賠償の対象とはなりません。

電動介護用ベッドのSGマーク証明書



製品安全協会 対人賠償責任保険付

次のものはSGマークの賠償対象外です。

- SG認定基準に不適合の部品で組み立てたもの及び組み付け不良によるもの
- オプション部品が起因したもの

■ アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げ販売店、または弊社営業所・サテライトまでお問い合わせください。

ランドルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-3535
青森サテライト	〒 030-0921 青森県青森市原別 8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
岩手営業所	〒 020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒 984-0821 宮城県仙台市若林区中倉 3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉北サテライト	〒 347-0002 埼玉県加須市外野 432 TEL.0480-69-2171 FAX.0480-69-2172
所沢営業所	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒 193-0824 東京都八王子市長房町 22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒 120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒 262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21 RT サンライト 101 号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒 220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒 485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒 578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
神戸サテライト	〒 652-0804 兵庫県神戸市兵庫区塚本通 4-1-2 TEL.078-579-6525 FAX.078-579-6526
岡山サテライト	〒 700-0975 岡山県岡山市今 8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066



ランドルコーポレーション

株式会社ランドルコーポレーション本社

〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3709

営業部ダイヤルイン : TEL.048-475-3662 FAX.048-475-3712